

# 「筆文字文化の活性化」 木製看板製作の伝統が生んだ 新しい書道のカタチ

木と字の神林



【木製看板の製作】

も無駄にしない。大きな字をデザインする書家にとって、まさに夢のような商品である。また、幼稚園やイベント会社など現場からのニーズに応え、多色（黒・赤・青・緑・桃）展開やさまざまな大きさのシートの企画を開始し、喜びの声をいただいている。

現在の書道人口は400万人と言われ、20年前から半減した。しかし、書道は集中力や思考能力が増すなどメリットも多い。また、認知症予防のための160種の趣味の中で、筆を使って字を書く「書写」が、最も脳の活性化に良いというデータも出ている。AIなどデジタル化が加速する中、同社は「もっと手軽に書道を楽しんでほしい」と、「水書道」の提案・営業活動を通じて人間本来の温かみの大切さを伝え続けることを使命に、今後も取り組んでいく。

木と字の神林（町田市つくし野、神林隆成代表、042・796・4782、<http://kitoji.jp>）は、1964年の創業以来約50年にわたり、筆文字のロゴデザイン、完全手作業による木製看板の製作を営んでいる。書家で前会長の故・神林金哉氏が友人に「神林の字を看板にできないか」と頼まれ、製作したのがきっかけだ。2002年、弟である隆成氏とともに法人設立。現在も木製看板にこだわり続け、有名繁盛店からテレビドラマの美術品まで約5千点ほどを手がけた。

大きな紙に字をデザインする際、墨だと汚れるうえ、片付けにも手間がかかるため「もっと簡単に筆で字が書けないか」という前会長の想いを発展させた商品が、「水書きゲー」である。これは、2009年大手製紙メーカーと共同開発した、水で書道の練習が簡単にできるシートだ。

水で書くため汚れず、筆洗いや要なので後片付けも簡単。乾くと字が消え繰り返し書けるから、紙



【水書道の提案】

「水書きゲー」で書く楽しさをより多くの方へ